社員総会（第８期第４回　オピニオンメンバー会議）
議事録

日程；2026 年 10 月 4 日（日）　午前 10 時 00 分より 11 時 45 分
会場；ＡＰ浜松町　ROOM_C および Zoom meeting
　　（会場参加とオンライン参加のハイブリッド形式で開催）

議長：河野雄一郎
議事録署名人：西村　誠／坪川正樹

議　案（報告事項のみ）
第１号議案　　2026 年度会務執行状況と半期収支報告
　　2027 年度予定
第２号議案　　ヘルスケアミーティング 2027 について
第３号議案　　ヘルスケアミーティング 2028 と 30 周年記念事業について
　　１）30 周年記念事業の進捗状況報告
　　２）記念研究事業の詳細と参加協力要請
第４号議案　　任期満了に伴うオピニオンメンバーの改選について
第５号議案　　その他
　　１）ウィステリアの今後について
　　２）各種委員会、フォーラム、プロジェクト活動報告
　　３）歯科用実習用マネキン（ファントムヘッド）貸し出し事業について
　　４）ヘルスケアミーティング 2026 の役割分担

※今回からこれまでの逐語録 → 発言要約型議事録に変更しました。

丸山和久専務理事より第８期第 4 回オピニオンメンバー会議の開始の宣言があり、代表あいさつ後、議長の選出にて河野雄一郎氏が指名され、賛同を得た。

河野（雄）氏（以下議長）より本日のオピニオンメンバー会議成立が宣言された（会場 28 名・オンライン 17 名　計参加者 45 名　委任状 23 名　不明 2)。議事録署名人に西村 誠さんと坪川正樹さんを指名した。

第 1 号議案　令和 7 年度事業報告および決算報告

丸山（和）：議案書掲載内容に基づき会務執行状況を報告した。また、午後から認証ミーティングが予定されていることから、本会議は時間を意識して進行したいので協力をお願いした。

秋元：以前からのオピニオンメンバー会議での要望を受け、1 月から 8 月までの半期収支について報告した。会費収入は約 1,144 万円で前年同期を上回った。ただし、納入時期の影響が大きく、単純比較は適当ではない。セミナー収入は前年 833 万円から 457 万円へ減少した。前年に実施された実践セミナー等による収入が今年度にはないことや、開催数自体が減少していることが要因である。企画商品販売収入は前年約 1,887 万円に対し約 44 万円と大きく減少した。支出については、会場費の増加、謝金の増加、会誌発行に伴う印刷製本費の増加などがみられた。一般管理費は前年約 1,050 万円に対し、本年度は約 1,135 万円となり前年を上回った。

収支結果は、前年同期の経常利益約 827 万円に対し、本年度は約 426 万円となった。今後は支出が増加する時期に入るため、前年より厳しい収支状況になる見込みである。

※当日の資料にて、令和 7 年 1－8 月の金額に誤りがあり、修正資料を別途添付する。

質疑応答

河野（正）：監事として半期収支報告が実施されるようになったことを評価する。一方で、現状の収支推移をみると、本年度も赤字決算となる可能性が高いと考えている。

高橋：各セミナーについては個別に収支確認を行っている。ただし、学会事業は利益追求を目的とするものではなく、会員サービスや学術活動としての価値もあるため、必ずしも全事業の黒字化のみを求めて運営しているわけではない。

河野（正）：学会全体で見ると余剰資金はあるものの、赤字が継続すれば長期的な問題となる。コアメンバー会議において学会全体の収支構造を議論し、その内容をオピニオンメンバーにも示してほしい。

上田：余剰資金が存在するうちに、学会として中長期的な財政運営方針を議論すべきではないか。また、余剰資金の一部を基金化して運用し、その収益を学会活動に活用することも検討できるのではないか。

秋元：過去にも同様の議論を行ったが、その際は運用を見送る結論となった。ただし、金利環境などは当時と変化しているため、今後改めて議論することには意義があると考える。また、他学会における運用事例も紹介した。

議長：収支改善のため、11 月のヘルスケアミーティングへの参加をお願いした。続いて、2027 年度事業予定について説明を丸山（和）さんに求めた。

丸山（和）：2027 年度の主な予定は以下のとおりである。

・春季オピニオンメンバー会議・スプリングセミナー：3 月 14 日
・秋季オピニオンメンバー会議・認証ミーティング：10 月 17 日
・ヘルスケアミーティング：11 月 21 日・22 日

・ニュースレター：年 5 回発行

スプリングセミナー詳細を枡富さんに求めた。

枡富：筑波大学附属病院の医療安全担当講師による講演を企画している。内容は医療安全、患者対応、カスタマーハラスメントなどを予定している。

議長：参加者に質問・意見を求めたが発言はなく、第 2 号議案へ移った。

第 2 号議案　ヘルスケアミーティング 2027

丸山（修）：2027 年のヘルスケアミーティングは「質の高いメインテナンス」をメインテーマとして 1 日目の企画を進めている。2 日目は「あっちもこっちも」を継続しており、現在は講演内容や演者選定を進めている段階である。今後さらに具体化していく予定である。

林（浩）：2 日目の担当としてホームページの「学会組織」ページを画面共有しながら説明した。これまで「あっちもこっちもヘルスケア」で実施していた委員会・フォーラム紹介に加え、各地方会の症例発表や活動内容を共有する場を設けたい。若手会員にも積極的に参加してもらい、地方会同士の交流や学びにつなげていきたいので、各地方会代表の協力をお願いしたい。

質疑応答

西村：現在、各地方会の活動は個別に行われることが多く、他地域の活動内容を知る機会が少ない。そのため、地方会が一堂に会して活動報告や交流を行う企画は非常に有意義であり、地方会活性化にもつながるのではないかと期待している。

議長：参加者に質問・意見を求めたが発言はなく、第 3 号議案へ移った。

3 号議案　ヘルスケアミーティング 2028 および 30 周年記念事業

1）30 周年記念事業の進捗報告

古市：2028 年のヘルスケアミーティングと併せて、学会創立 30 周年記念事業を実施する予定である。現在検討している主な企画は以下の 4 本柱である。

・記念講演

・長期症例発表

・学会 30 年史の整理・アーカイブ化

・記念研究事業

これらを中心に準備を進めている。

会誌アーカイブ事業について枡富さんに説明を求めた。

枡富：学会誌第 26 巻までに蓄積された学術的成果や活動記録を整理し、30 年にわたる学会の歩みをまとめる準備を進めている。隔月のペースで打ち合わせを実施しており、2027 年に中間報告、2028 年に完成版を発表する予定である。

古市：長期症例発表について千草さんに説明を求めた。

千草：長期症例発表委員会を立ち上げ、準備を開始した。コアメンバー以外の参加者は河野（雄）さん、坪川さん、伊東さんである。自由発表形式では内容にばらつきが生じるため、一定の統一フォーマットを整備する方針である。また、長期症例発表には長年ヘルスケア診療を継続してきた会員の協力が不可欠である。歯科衛生士による発表も積極的に取り入れていきたい。

古市：記念講演について秋元さんに説明を求めた。

秋元：大阪大学名誉教授の天野敦雄先生に依頼している。講演内容は、過去 50 年間のう蝕・歯周病因論の変遷、重症患者減少と軽症化の進行、今後の患者説明のあり方、などを予定している。天野先生からは、十分な準備を行ったうえで講演を実施したいとの回答を得ている。

２）記念研究事業の詳細と参加協力要請

古市：30 周年事業の一環として以下の 3 研究を準備している。

・研究 1）SPT スタディ

研究目的：SPT（Supportive Periodontal Therapy）が保険導入されて 10 年が経過することを踏まえ、その成果や課題を検証したい。学会員の診療所には長期にわたるメインテナンス症例が多数存在するため、それらを活用した研究が可能である。研究名は SPT スタディであるが、実質的には学会員が実践しているメインテナンス医療の長期成果を評価する研究である。

研究体制：日本歯科大学の加藤智崇先生の協力を得て研究計画を作成している。認証医院は診療内容や記録が一定水準で標準化されており、研究対象として非常に価値が高いとの評価を得ている。

対象：認証医院、50 歳以上、10 年以上メインテナンス継続、継続率 80%以上、などの条件を満たす患者である。

スケジュール：倫理委員会申請の関係から、10 月 10 日までに参加医院決定、患者概数の報告、Zoom 説明会実施、を予定している。参加医院が多いほど 1 施設当たりの作業負担を軽減できるため、積極的な協力をお願いしたい。

・研究 2）メインテナンス・イベント・スタディ

こちらも加藤先生に協力をお願いしている。メインテナンス中に起こり得る大小さまざまなイベントやトラブルを集計する研究であり、研究 1 の進捗を見ながら進めていく予定である。

・研究 3）ヘルスケア型後ろ向きコホート研究

規格化された口腔内写真を 30 年分会員から収集し、研究への活用を検討している。

※詳細は別紙資料参照

杉山：研究対象の抽出方法について補足する。過去の Do プロジェクトでは十分な症例数が集まらなかった経験があるため、今回は抽出条件を整理し、多くの患者データを収集できる仕組みとした。さらに、本研究は最終的に英文論文化を予定しており、国際誌への投稿を目指している。日本の保険制度下で長期メインテナンスを解析できる貴重な研究である。

古市：今回の記入作業については 10 月中の提出ではなく、数か月の時間を設けている。全体で 1,500〜2,000 件を目標としているが、多数の症例を抱える診療所では大きな作業負担となることが予想される。可能な限り参加診療所数を増やし、負担を分散したいと考えている。

質疑応答

西村：対象患者抽出については、AI やアプリケーションを活用すれば大幅な作業軽減が可能ではないか。作業負担が軽減されれば参加者も増えると思うが、時間的に実現可能なのかうかがいたい。

杉山：最初のステップ 1・2・3 をウィステリア限定で処理できれば、大幅な時短になると思う。得意な方がいれば協力をお願いしたい。

古市：以前のウィステリアセミナーで、坪川さんから生データを活用できるとの話があったが、いかがか。

坪川：ウィステリア（ファイルメーカー）はデータ構造上、条件検索や患者抽出が十分可能である。今後は研究支援ツールとしても活用できる可能性がある。

杉山：オンライン参加の加藤 徹さんに意見を求めた。

加藤：今年から息子が戻り、データ入力方法を変更したため、本研究に必要なデータを提出できるか不安がある。

杉山：各診療所にはそれぞれ事情があると思うが、ぜひ協力をお願いしたい。

上田：Dental X 利用の診療所ではどのような検索方法が考えられるか。

杉山：田中正大さんに意見を求めた。

田中：一般的な Dental X 環境だけでは、対象患者の抽出は容易ではないと思う。

坪川：Dental XR では来院履歴の出力機能が整備されつつあり、今後は活用できる可能性が高まると思う。

上田：Dental XR に履歴が残るのは、その日に来院した患者を毎日入力しているためなのか。坪川さんに質問した。

坪川：当院では Dental Hub というアポイント帳を使用しており、そのデータが残っている。多くの医院でも何らかのアポイントシステムを利用していると思うので、そのデータを書き出し、「メインテナンス」という単語を抽出すれば履歴を抽出できる。

議長：参加者に今回の研究への協力を呼びかけ、第 4 号議案に移った。

第 4 号議案　任期満了に伴うオピニオンメンバーの改選について

秋元：オピニオンメンバーの任期は 2 年であり、本年末で現任期が満了する。今後、留任意思の確認、新規候補者の推薦、会員による投票を経て、新オピニオンメンバーを決定する予定である。選挙管理委員会の田中委員長に今後の予定について説明を求めた。

田中：前期に引き続き選挙管理委員長を担当する。留任届・推薦届ともに 11 月 6 日が締切であるため、速やかな提出をお願いしたい。また、会員による信任投票は、次号ニュースレターに同封する候補者名簿を確認し、不信任と考える候補者がいる場合に投票する方式である。これまで否認された事例はない。

　選挙管理委員長はなかなかシビアな役目であり、次期委員会では人事の見直しもお願いしたい。

議長：参加者に質問・意見を求めたが発言はなく、第 5 号議案へ移った。

第 5 号議案

1）ウィステリアの今後について

高橋：前回会議で確認した方向性に基づき開発を進めている。8 月にリアルミーティング、9 月にオンラインミーティングを開催し、会員との意見交換会も実施した。そこで得られた意見を反映しながら、新たなシステム構築を進めている。

議長：参加者に質問・意見を求めたが発言はなく、次の議題へ移った。

3）歯科用実習用マネキン（ファントムヘッド）貸し出し事業について

議長：議案の順序を変更し、3 番の報告について丸山（修）説明を求めた。

丸山（修）：衛生士基礎コースで使用している歯科用実習用マネキン（ファントムヘッド）の会員向け貸出事業を開始する。現在 15 台を管理しており、院内研修、地方会活動、実習会など幅広い用途で利用してほしい。

・運用方法について：

利用者は学会ホームページから申請（在庫数は申請フォームで確認する）

丸山歯科医院より発送（送料：着払い）

利用後返送（送料：利用者負担）

事後、事務局より請求

とする運用を予定。

質疑応答

議長：15 台を借りた場合、1 個口で送ることは可能か。

丸山：15 個を 1 個口では送れないが、なるべくまとめられるようにする。

河野（正）：破損・紛失時の費用負担については、規定をより明確に記載したほうがよい。

丸山（修）：破損・紛失は借り方に請求の明確な明記をする。

蓮見：申込期限や発送時期、顎模型が貸出対象外であることも明示したほうがよい。

丸山（修）：レンタルサイトの表示修正をする。

髙木：破損や紛失のチェックは丸山歯科医院で行うのか。
丸山（修）：すべてにナンバリングし、写真を撮って記録しており、使用前後にチェックをしている。
議長：質疑を終了し、2 番の報告について丸山（和）さんに説明を求めた。

2）各種委員会、フォーラム、プロジェクト活動報告

丸山（和）：時間の都合上、途中で区切り、残りは議事録に掲載する。それではフォーラムからホームページ掲載順に報告をお願いしたい。

・海外フォーラム
古市：現在は活動を休止している。主な活動は海外での歯科関係ボランティアや会員の活動報告を学会内で共有することであった。将来的な再開を視野に入れている。

・欠損フォーラム
丸山（和）：斉藤 仁さんより、メンバーの総意により解散したとの報告を受けている。

・歯科衛生士会議
田村：歯科衛生士の地位向上について内外へ発信していきたいが、現状では十分に実施できていない。今年度は歯科衛生士新人初期研修会を平日に 3 回開催し、20 名の参加があった。

・学校歯科フォーラム
上田：月例でオンラインミーティングを継続している。現在、ヘルスケアミーティングでの発表準備を進めている。また、2005 年に作成した 12 歳児 DMFT 全国マップを新たに作成する計画も進めたい。

・赤ちゃん歯科フォーラム
上田：月例でオンラインミーティングを継続している。昨年のヘルスケアミーティングでの発表をきっかけに、今年はオンラインとリアルの両形式でセミナーを開催した。その結果、新規入会者や新規メンバーの獲得につながった。

・ヘルスケアと障害者歯科フォーラム
枡富：現在 7 名で活動しており、3 か月ごとにオンラインミーティングで症例相談会を実施している。

・文献抄読会（EBM ヘルスケア）フォーラム
島野：定期的に文献検討会を開催している。11 月 5 日 20 時から竹内一貴先生による講演会を予定している。参加 URL はメーリングリストで案内した。

・歯科衛生士による浸潤麻酔について考えるフォーラム
丸山（和）：このテーマが出た当初は、当会として真剣に取り組む必要があると考えて立ち上げた。現在は他学会でも研修が実施されており、役割は一定程度果たしたと考えるため、解散でよい。

・小児歯科フォーラム
曽野：現在は活動休止状態であるが、再開を検討している。

・ウィステリア検証フォーラム

丸山（和）：高橋さんから報告があった内容と重複するため省略する。

・医院継承フォーラム

大井：医院継承に絶対的な正解は存在せず、経験の共有が重要であるとの考えのもと活動を継続している。これまで 3 名の発表を聞いたが、いずれもケースバイケースでの対応が必要だと感じている。現在は異なるケースの方へ発表を依頼しており、準備が整い次第案内したい。

・臨床研究プロジェクト

岡：隔月で研究検討会を開催している。医療の質、う蝕発生率、SPT 研究など多様なテーマについて議論している。9 月例会では SPT スタディの報告も行われた。臨床研究や調査を進めるうえで、メンバー同士が意見交換できる貴重な場となっている。今後は学会誌への投稿も進むと考えている。症例報告を含め、単発での参加も歓迎している。

・禁煙支援プロジェクト

髙木：月例でオンラインミーティングを継続している。今年は喫煙と歯周病との関連を調査しており、ヘルスケアミーティングでは 1 日目の発表とポスター発表を予定している。

丸山（和）：公認団体からの報告をお願いした。

・東京ヘルスケアグループ

川嶋：2 月に診療所づくりミーティング（テーマ：医院継承）、6 月にスタッフミーティング（講師：髙橋啓さん）を開催した。2027 年は 2 月に伊藤直人先生、6 月に落合真理子さんをメイン講師として予定している。

・ヘルスケアウエスト

千草：2011 年から活動している。コロナ禍以前は年 2 回開催していたが、現在は年 1 回のスタッフミーティングを開催している。今年は 7 月 5 日に伊藤直人先生と福岡歯科大学保存学分野の松﨑英津子教授を招聘した。参加者は 100 名を超えた。

・ヘルスケア北海道

丸山（和）：斉藤 仁さんより、現在は活動停止中との報告を受けている。

・ITS（四国ヘルスケア）

河野（雄）：月例で理事会を開催している。4 月 26 日に野村明美さんによる UP-SRP セミナー、5 月 7 日に佐久間利喜先生と技工士の神山大地さんを招いたデジタルデンチャーセミナーを開催した。10 月 25 日に総会および会員発表会を予定している。また、UP-SRP セミナーの復習セミナーも開催予定である。

・ADF（淡路デンタルファーラム）

枡富：ADF は淡路島で開業する楠 雅博先生が立ち上げた会である。今年で 33 回目となるスタッフミーティングを 9 月 5 日に開催し、約 100 名規模の研修会となった。多様な歯科医療従事者による発表があり、懇親会も充実しているため、興味のある方にはぜひ参加していただきたい。

・K-wave・シン関ヘル

丸山（和）：藤井俊憲さんからの報告を代読した。4 月 6 日の例会には 46 名が参加し、野上敦司さんによる会員発表および東北大学フリーラジカル制御学共同研究講座の中村圭祐先生による講演を実施した。5 月 29 日にはシン・関ヘルとの共催で伊藤直人先生講演会を開催した。また、5 月 28 日・6 月 25 日に UP-SRP ミドルコース、7 月 23 日・8 月 27 日・9 月 17 日にエントリーコースを開催した。今後は 2027 年 1 月 28 日および 3 月 4 日にミドルコースを予定している。例会は年 1〜2 回開催予定である。

丸山（和）：今後、「AXIS」というスタディグループが公認団体に加わる予定である。さまざまなチーム活動がさらに活性化することを期待している。

委員会の報告は時間の都合上、省略する。

4）ヘルスケアミーティング 2026 の役割分担

議長：4 番、ヘルスケアミーティング 2026 の役割分担について。今後、個別に依頼がされる予定。協力要請があることを周知した。

その他

島野：斉藤 仁さん著『AIPC 導入マニュアル』出版記念 Web セミナーを 12 月 8 日に開催予定である。

閉会

議長：全議案の審議終了を確認し、参加者への謝意を述べて閉会した。

以上

令和8年度半期計算書

		令８年1-8月	令７年1-8月
810	入会・会費収入	11,444,000	9,803,000
811	セミナー収入	4,057,147	8,332,803
812	その他収入	70,500	0
813	企画商品販売収入	441,200	797,370

		令8年1-8月	令７年1-8月
510	会場費	631,672	538,130
511	機材設営	86,100	60,500
513	お弁当代	195,964	312,105
514	謝金	1,060,479	1,193,517
515	印刷製本制作費	2,658,278	1,787,214
516	委託費	95,975	98,450
521	広告宣伝費	990,440	220
523	消耗品費	195,336	557,339
524	賃借料	71,044	107,558
529	宿泊費	448,485	610,079
530	旅費交通費	478,015	847,710
531	通信運搬費	921,255	1,000,990
532	支払手数料	451,015	117,762
533	会議費	260,473	201,508
549	HP更新料	132,550	4,950
550	ﾎｽﾃｨﾝｸﾞｻｰﾋﾞｽ	100,100	100,100
551	事務局費	616,000	616,000
552	委託事務人件費	1,848,000	1,848,000
544	税理士報酬	110,000	418,000
539	雑費	2,640	3,817
9620	**一般管理費**	**11,353,821**	**10,508,550**
9630	**販売費及び一般管理費**	**11,353,821**	**10,508,550**

		令８年1-8月	令7年1-８月
9640	**営業利益**	**4,143,546**	**7,923,054**
600	受取利息		
604	雑収入		
9660	**営業外収益**		
9700	**経常利益**	**4,259,120**	**8,273,447**
9730	**税引前当期純利益**	**4,259,120**	**8,273,447**
9750	**当期純利益**	**4,259,120**	**8,273,447**
9435	繰越利益剰余金		
9800	**繰越利益剰余金**	**4,259,120**	**8,273,447**

※令和７年１−８月の金額に誤りがありました。上記のように修正します。

2026 年 10 月 20 日修正

３０周年記念研究に関する報告

① 各研究の進捗状況

研究１；SPT スタディ
SPT が保険導入されて１０年経ち、その効果を評価する研究です。
日本歯科大学の加藤智崇先生のご協力をいただき、今月より具体的に始動します。
なるべく多くの認証医院の参加をお願いします。
詳細は次項に。

研究２；メインテナンス・イベント・スタディ
メインテナンス中に起こりえる大小のイベントを集計し、評価します。
こちらも加藤先生のご指導の下、準備を進めており、
研究１の進捗状況を見ながら並行して進めたいと思います。

研究３；ヘルスケア型後ろ向きコホート研究
規格化された口腔内写真を活用した後ろ向き研究を計画しています。
３０年間、全国の会員医院に貯め込まれた口腔内写真を活用できる研究を企画してきました。
某大学歯学部小児科教授や写真と AI の専門家にご意見を伺いながら調整していますが、
前述の２研究より計画が遅れています。

② 研究１の症例シートへの記入とタイムスケジュール

対象医院；１０年以上のメインテナンス症例を持つ認証医院

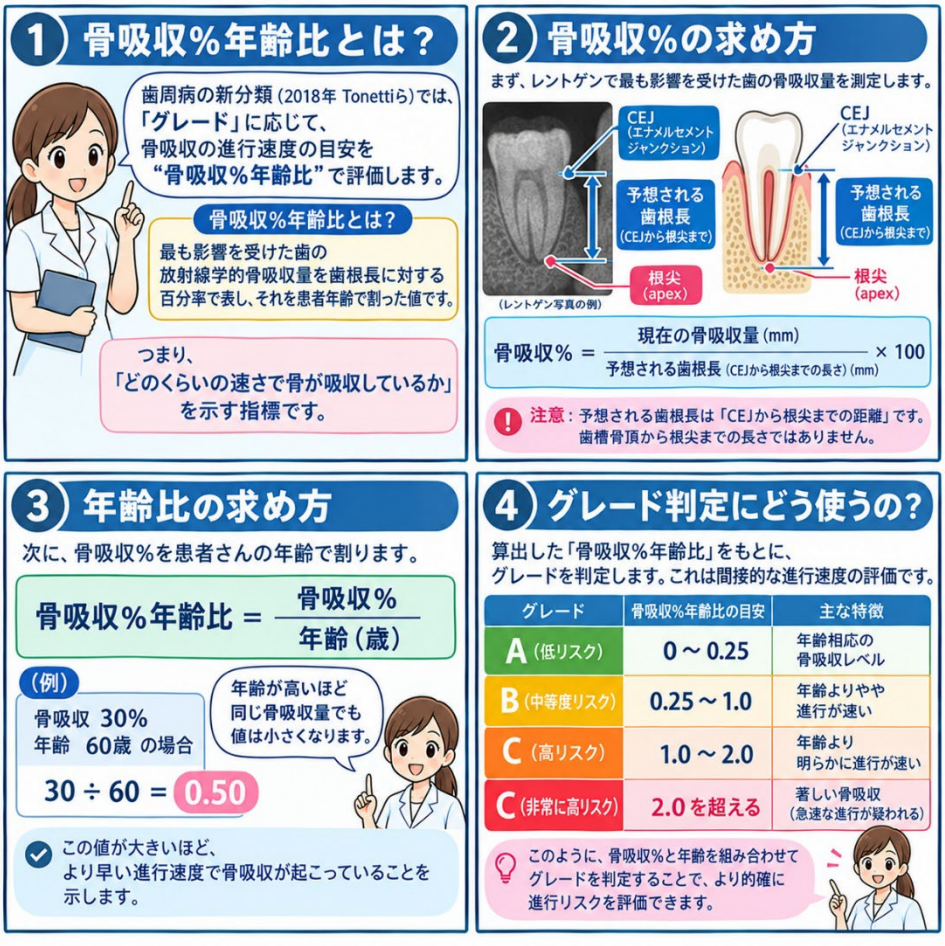
対象症例；総サンプル数１５００～２０００（多くなった場合は調整します）
２０２６年１月～６月に SPT で来院した 50 歳以上の患者
10 年以上前に SPT に移行している
10 年間で少なくとも８年以上、SPT のために受診している
適切な資料が取られている（調査項目および記入例は、別紙参照）

近日タイムスケジュール；
10/10　参加医院の決定　以降での追加参加 OK
10/18　各医院のサンプル数確認・提出　概算でも OK
10/21　ZOOM にて全体打ち合わせ

SPT スタディ

対象患者：調査開始日（2026 年 1 月 1 日）より 10 年以上前に SPT に移行した 40 歳以上の全ての患者（最初に SPT へ移行した日が 10 年以上前）で、少なくとも 10 年のうち 8 年間は SPT で歯科医院を受診している者で 2016 年 1 月～6 月には SPT の受診があるもの

2016 年時：2016 年における最初の SPT 受診した日の検査結果のこと
直近：調査時点において、最も近くで検査した日にちのこと
喫煙：加熱式、無煙たばこ等、すべてのタバコを使用している者
高血圧等の有病者について、問診票等で記載がある者、記載なければ病気無しとする
残存歯：智歯を除外。残根は含める。
ホープレス歯：動揺 3 度、歯槽骨の吸収が根尖付近まであり予後が不良と思われる歯、フィステルが消失しないもしくは抜歯相当の根尖病巣、歯肉縁下カリエス等があって教科書的に抜歯が必要であるという歯のこと
抜歯数：智歯の抜歯は除外
新規う蝕充填数は 5 級と二次 C は除外
新規抜髄、根管治療数はう蝕による抜髄等であって便宜抜髄や外傷は除く
骨吸収・年齢比：デンタルまたはパノラマから、歯槽骨の吸収割合（%）÷年齢（年）を算出する。
詳細は別紙参照



研究１：SPT スタディ

実施責任者：古市貴暢（コアメンバー）
学術助言者：加藤智崇（日本歯科大学生命歯学部 准教授）
目的：SPT（定期管理）の 10 年間の継続は患者の健康に寄与するか、その実態を知る

【本研究の PECO】

（P）（研究対象組み入れ／除外に関する図参照）2016 年に SPT[*1] に移行した（または SPT で受診した）歯周病患者*（40～44 歳, 45～49 歳, 50～54 歳, 55～59 歳, 60～64 歳, 65～69 歳）で 2026 年に SPT で受診した者

*1：必ずしも歯周病学でいう SPT に当たらない定期管理、メインテナンス受診を含む

（E）SPT あり（年 1 回以上、10 年で 8 回以上、24 ヵ月以上の間隔(23 ヵ月間隔が 1 回までは可)をあけない定期管理受診、必ずしも SPT 算定を要しない）

（C）2026 年 1 年間に明確な主訴を持たずに受診した同年齢群（50～54 歳, 55～59 歳, 60～64 歳, 65～69 歳, 70～74 歳, 75～79 歳）の患者（不定期受診、主訴のない初診患者）

（O）（SPT スタディ記入シート参照）年齢、性別、高血圧症、認知症、ホープレス歯数など 38 項目

なお、調査期間中（10 年間）の歯科的介入（再歯周治療、インプラント治療、補綴治療、歯内療法治療など）の有無は問わない。

対象患者：調査開始日（2026 年 10 月 1 日）より 10 年以上前に SPT に移行した現在 50～54 歳, 55～59 歳, 60～64 歳, 65～69 歳, 70～74 歳, 75～79 歳の全ての患者

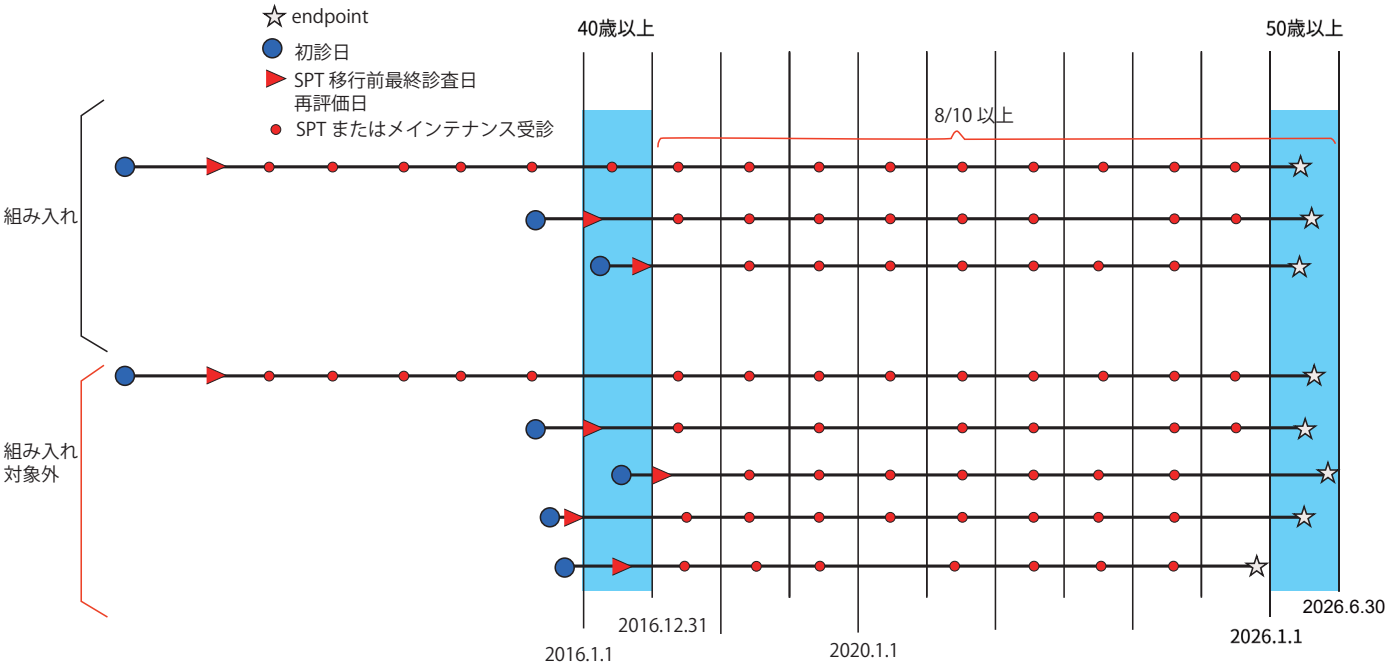
SPT：積極的治療を終えて再評価で安定期であると診断し、その後 10 年のうち 8 年以上定期受診を継続し、2026 年に SPT で受診した 50～79 歳の人
ベースライン：2016 年 1 月 1 日から 12 月 31 日に SPT 受診した者の検査結果*

*参照すべきデンタルエックス線は約 3 年遡ることができる

エンドポイント：2026 年 1 月 1 日から 12 月 31 日に SPT で受診した者の検査結果

【本研究での用語の註釈】

・喫煙：加熱式、無煙たばこ等、すべてのタバコを使用している者
・患者が医師の診断を受けている慢性疾患（高血圧や糖尿病等）問診票等に記載がある場合
・残存歯（現在歯）：智歯を除外。残根は含める。
・ホープレス歯：（担当医の診断ではなく）動揺 3 度かつ歯槽骨の吸収が根尖付近まであり予後が不良と思われる歯、サイナストラクト（瘻孔）が消失しないもしくは抜歯相当の根尖性歯周炎、歯肉縁下う蝕、破折等があって教科書的に抜歯適応とされる歯
・抜歯数：智歯及び矯正治療目的の抜歯は除外



SCREENING FLOWCHART

対象者抽出スクリーニングフロー

STEP 1 母集団判定

直近受診 & 年齢

・2026年1月～6月受診

・満50歳以上
（受診日時点）

STEP 2 10年起点判定

10年前の実施歴

・2016年1月～12月に

メインテナンス歴あり

STEP 3 継続性判定

10年間の継続年数

・2016年～2025年で

メインテナンス

実施年数が「8年以上」

メインテナンス実施とは、
1年に1回以上の
メインテナンス来院あり

TARGET 抽出完了

研究解析対象コホート

10年長期
メインテナンス群

最終解析データセット

全歯科医院通しのID	歯科医院カルテ番号	年齢（2016年時：歳）	性別（男0、女1）	ベースライン検査日（2016年月日）	直近検査日（年月日）	SPT移行日（年月日）	2016年時喫煙（禁煙0、喫煙1）	直近喫煙（禁煙0、喫煙1）	高血圧症無し0、有り1（2016時）	糖尿病無し0、有り1（2016年時）	骨粗鬆症無し0、有り1（2016年時）	心血管疾患無し0、有り1（2016年時）	脳血管疾患無し0、有り1（2016年時）	認知症無し0、有り1（2016年時）	高血圧症無し0、有り1（直近）	糖尿病無し0、有り1（直近）	骨粗鬆症無し0、有り1（直近）	心血管疾患無し0、有り1（直近）	脳血管疾患無し0、有り1（直近）	認知症無し0、有り1（直近）
1																				
2																				
3																				
4																				
5																				
6																				
7																				
8																				

DMFT値（2016年時）	DMFT値（直近）	残存歯数（2016年時）	残存歯数（直近）	2016年時ホープレス歯数	直近ホープレス歯数	SPT中抜歯数	SPT中抜歯理由（う蝕or歯周or破折orその他）	平均PPD値（2016年時）	平均PPD値（直近）	PPD4mm以上の数（箇所、2016年時）	PPD4mm以上の数（箇所、直近）	BOP%（2016年時）	BOP%（直近）	PCR%（2016年時）	PCR%（直近）	インプラントの本数（2016年時）	インプラントの本数（直近）	骨吸収年齢比（2016年時）	SPT受診回数

別紙6

第8期オピニオンメンバー出欠簿

2025/1/1～2026/12/31

委任	当日	no	新規	氏名	フリガナ	役職	資格	会員No.	勤務先名	県庁所在地
	会場	1		河野　正清	かわの　まさきよ	監事	DR	98-0041	終身会員	東京都小平市
	会場	2		森谷　良行	もりや　よしゆき		DR	98-0175	もりや歯科	埼玉県坂戸市
	会場	3		田中　正大	たなか　まさひろ		DR	98-0291	田中歯科クリニック	埼玉県川口市
	オン	4		国井　一好	くにい　かずよし		DR	98-0321	国井歯科医院	山形県山形市
	会場	5		秋元　秀俊	あきもと　ひでとし	務局	その他	98-0330	(有)秋編集事務所	東京都文京区
議長	欠席	6		足本　敦	あしもと　あつし		DR	98-0500	デンタル　サロン・ド・ブライト	鳥取県米子市
	会場	7		千草　隆治	ちぐさ　りゅうじ	コア	DR	98-0538	千草歯科医院	福岡県北九州市
	オン	8		高木　景子	たかぎ　けいこ		DR	98-0571	たかぎ歯科医院	兵庫県神戸市
	オン	9		加藤　徹	かとう　とおる		DR	98-0662	医)加藤歯科医院	山形県東根市
	オン	10		杉山　精一	すぎやま　せいいち	コア	DR	98-0670	医社)清泉会　杉山歯科医院	千葉県八千代市
	オン	11		宇田川　義朗	うだがわ　よしあき		DR	98-0815	医社)Compassion 宇田川歯科医院	東京都江戸川区
議長	欠席	12		浪越　建男	なみこし　たつお		DR	98-0819	浪越歯科医院	香川県三豊市
	オン	13		大井　孝友	おおい　たかとも		DR	98-0826	おおい歯科	大阪府岸和田市
議長	欠席	14		藤本　淳	ふじもと　あつし		DR	98-0830	医)美翔会　ゆいとぴあ歯科医院	岩手県盛岡市
	会場	15		渡辺　勝	わたなべ　まさる	コア	DR	98-0850	わたなべ歯科	埼玉県春日部市
	会場	16		岡本　昌樹	おかもと　まさき	コア	DR	98-0863	おかもと歯科医院	栃木県栃木市
議長	欠席	17		鈴木　正臣	すずき　まさおみ	監事	DR	98-0965	医)鈴木歯科医院	埼玉県蓮田市
	オン	18		岡　恒雄	おか　つねお		DR	98-1192	倉敷医療生活協同組合　玉島歯科診療所	岡山県倉敷市
	オン	19		寺田　昌平	てらだ　しょうへい		DR	99-0117	てらだ歯科クリニック	兵庫県姫路市
議長	欠席	20		槍崎　慶二	うつぎざき　けいじ		DR	99-0204	医社)慶仁会　うつぎざき歯科医院	茨城県水戸市
	会場	21		丸山　和久	まるやま　かずひさ	コア	DR	M0-0106	丸山歯科医院	兵庫県神戸市
議長	欠席	22		浅埜　尚人	あさの　なおと		DR	M0-0164	あさぎ歯科医院	高知県高知市
	会場	23		齋藤　健	さいとう　たけし		DR	M1-0191	さいとう歯科	千葉県市川市
	会場	24		蓮見　愛	はすみ　あい		DH	M3-0055	医社)清泉会　杉山歯科医院	千葉県八千代市
	会場	25		高橋　啓	たかはし　あきら	コア	DR	M3-0090	医)たかはし歯科	愛媛県南宇和郡
	会場	26		安田　直美	やすだ　なおみ		DR	M3-0144	クリスタル歯科	千葉県松戸市
	オン	27		難波　秀樹	なんば　ひでき		DR	M3-0448	難波歯科医院	岡山県倉敷市
	会場	28		川嶋　剛	かわしま　たけし		DR	M4-0034	川嶋歯科医院	東京都国立市
	会場	29		林　浩司	はやし　ひろし	コア	DR	M4-0346	医)はやし歯科医院	栃木県真岡市
	会場	30		山田　美穂	やまだ　みほ		DH	M5-0056	太陽歯科衛生士専門学校	東京都荒川区
議長	欠席	31		浜端　町子	はまはた　まちこ		DH	M5-0057	医)仁志会　丸山歯科医院	埼玉県深谷市
	会場	32		田村　恵	たむら　めぐみ		DH	M5-0098	青木歯科クリニック	東京都小平市
	会場	33		上田　康弘	うえだ　やすひろ		DR	M5-0125	さくら歯科医院	埼玉県草加市
	オン	34		雨宮　博志	あめみや　ひろし		DR	M6-0054	あめみや歯科医院	神奈川県秦野市
	会場	35		小塚　一芳	こづか　かずよし		DR	M6-0061	たんぽぽ歯科クリニック	長野県茅野市
議長	欠席	36		長岡　守	ながおか　まもる		DR	M7-0032	富の原歯科	長崎県大村市
議長	オン	37		若井　広明	わかい　ひろあき		DR	M7-0088	医)若井歯科医院	東京都江東区
	欠席	38		沼澤　秀之	ぬまさわ　ひでゆき		DR	M9-0032	医社)博山会　沼澤デンタルクリニック	東京都小金井市
	会場	39		落合　真理子	おちあい　まりこ		DH	N0-0024	武内歯科医院	東京都八王子市
議長	欠席	40		樽味　寿	たるみ　ひさし		DR	N1-0010	医社)たるみ歯科クリニック	兵庫県宝塚市
議長	欠席	41		中本　知之	なかもと　ともゆき		DR	N1-0032	医)C&P 西すずらん台歯科クリニック	兵庫県神戸市
	オン	42		志摩　裕美	しま　ひろみ		DH	N2-0018	おおい歯科	大阪府岸和田市
議長	欠席	43		杉山　修平	すぎやま　しゅうへい		DR	N2-0034	医社)清泉会　杉山歯科医院	千葉県八千代市
議長	欠席	44		澤幡　佳孝	さわはた　よしたか		DR	N2-0038	おひさま歯科クリニック	熊本県熊本市
議長	欠席	45		大立　美佳	おおたち　みか		DH	N3-0012	ひかり歯科クリニック	千葉県船橋市
	会場	46		林　由加里	はやし　ゆかり		DH	N3-0014	医)真生会　福田デンタルクリニック	大阪府大阪市
	オン	47		大本　幸加	おおもと　さちか		DH	N3-0040	丸山歯科医院	兵庫県神戸市
議長	欠席	48		本多　毅	ほんだ　たけし		DR	N3-0042	ほんだ歯科クリニック	兵庫県神戸市
	会場	49		枡富　健二	ますとみ　けんじ	コア	DR	N3-0063	医)枡富歯科医院	徳島県板野郡
議長	欠席	50		濵田　麻里	はまだ　まり		DH	N4-0013	hdhc　ふちはた歯科	大阪府大阪市
	オン	51		山本　修平	やまもと　しゅうへい		DR	N4-0025	やまもと歯科クリニック	兵庫県神戸市
	会場	52		河野　雄一郎	こうの　ゆういちろう		DR	N4-0030	きほくの里歯科医院	愛媛県北宇和郡
議長	欠席	53		堀坂　寧介	ほりさか　やすゆき		DR	N4-0041	堀坂歯科医院	兵庫県神戸市
議長	欠席	54		杉山　麻里恵	すぎやま　まりえ		DH	N4-0060	医社)清泉会　杉山歯科医院	千葉県八千代市
	会場	55		古市　貴暢	ふるいち　たかみつ	コア	DR	N5-0188	医社)明恵会　古市歯科医院	香川県高松市
	会場	56		曽野　偉錬	その　いれん	コア	DR	N5-0191	その歯科クリニック	兵庫県神戸市
	オン	57		松尾　真千子	まつお　まちこ		DR	N5-0236	たなか歯科	三重県鈴鹿市
議長	欠席	58		伊東　佑記	いとう　ゆうき		DR	N5-0245	医)id　白木原歯科	福岡県大野城市
	会場	59		西村　誠	にしむら　まこと		DR	N6-0011	医)西村歯科	大阪府泉大津市
	欠席	60		飯田　太一	いいだ　たいち		DR	N6-0029	いいだ歯科クリニック	福岡県福岡市
	会場	61		坪川　正樹	つぼかわ　まさき		DR	N6-0070	湘南予防・歯科室	神奈川県高座郡
議長	欠席	62		安岡　大介	やすおか　だいすけ		DR	N6-0124	医)恒誠会　ミライノデンタルクリニック	兵庫県加東市
議長	欠席	63		寺岡　徳光	てらおか　のりみつ		DR	N6-0139	医) こぐま小児歯科・歯科	愛媛県今治市
	オン	64		後藤　光成	ごとう　みつなり		DR	N7-0006	ごとうファミリー歯科	山形県山形市
	会場	65		丸山　修平	まるやま　しゅうへい	コア	DR	N9-0005	医)仁志会　丸山歯科医院	埼玉県深谷市
	会場	66		島野　圭介	しまの　けいすけ		DR	N9-0038	島野デンタルオフィス	東京都練馬区
	オン	67		平島　美穂	へいしま　みほ		DR	N9-0040	へいしま歯科ファミリークリニック	徳島県阿波市
議長	欠席	68		大塚　杏菜	おおつか　あんな		DH	N9-0061	その歯科クリニック	兵庫県神戸市
議長	欠席	69		高澤　淳仁	たかざわ　あつひと		DR	21-0001	高澤歯科クリニック	埼玉県志木市
議長	欠席	70		須藤　健太郎	すとう　けんたろう		DR	23-0014	医)須藤歯科診療所	岡山県倉敷市
							12			

10/4　出席45(会場28・オンライン17)　欠席23(議長委任:23)　不明2